

(3) 消費収支の状況

◆ 消費収支計算書

① 消費収入の部

帰属収入総額は306億円で、予算比1億円の減少となった。主な内訳としては、寄付金が5億円の減少、資産運用収入が3億円の増加、医療収入が1億円の増加である。

② 消費支出の部

消費支出総額は358億円で、予算比36億円の増加となった。主な要因としては、有価証券評価差額が38億円増加したことによる。

(単位：千円)

科 目	予 算	決 算	差 異
消費 収入 の部	学生生徒等納付金	4,812,800	4,806,670
	手数料	182,694	207,189
	寄付金	893,384	360,063
	補助金	1,545,348	1,564,196
	(国庫補助金)	(1,298,254)	(1,302,380)
	(地方公共団体補助金)	(247,094)	(261,816)
	資産運用収入	440,252	747,488
	資産売却差額	0	12,266
	事業収入	195,381	205,352
	医療収入	22,162,433	22,251,757
	雑収入	408,393	426,583
	帰属収入合計	30,640,685	30,581,564
消費 支出 の部	基本金組入額合計	△1,778,000	△2,115,145
	消費収入の部合計	28,862,685	28,466,419
	人件費	15,436,066	15,276,093
	教育研究経費	2,592,291	2,373,883
	医療経費	12,898,695	13,025,894
	管理経費	930,874	793,019
	資産処分差額	369,604	4,352,097
	徴収不能引当金繰入額等	16,000	14,075
予 備 費		33,790	33,790
消費支出の部合計		32,277,320	35,835,060
当年度消費支出超過額		3,414,635	7,368,641
前年度繰越消費支出超過額		19,757,387	19,757,386
翌年度繰越消費支出超過額		23,172,022	27,126,028

※ 科目毎に千円未満を四捨五入表示しているため、合計は必ずしも一致しない。

有価証券評価差額
が予算額の見込み
を38億円上回った。